



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

令和5年6月発行 no.41

menu

- 新任所長あいさつ
- 日野振興センターの業務紹介
- 今秋開催！第3回 日本伐木チャンピオンシップin鳥取
- 土砂災害から身を守る
- 日野郡で輝く人「灘乃屋」 灘 秀二郎さん
- 日野郡初！梨の担い手づくりの挑戦



日野振興局のお仕事

日野振興センターだより第39号で行った読者アンケートの結果、日野振興センターはそもそもどんな業務をしているのでしょうか？という声を多くいただきました。そこで、今号では改めて日野振興センターの業務紹介を行います。

農林業振興課・日野農業改良普及所

2階では、森林・林業と農業に関する業務を担当しています。

農林業振興課では、「木を伐って、使って、植えて、育てる」循環を盛んにするため、町や林業・木材産業事業者への森林整備・林業機械・路網整備に関する補助金の交付、森林経営・管理に関する技術の普及指導、林業の相談、林道の開設を行っています。

一方、林地開行為や保安林内作業の許可など、森林の開発を規制する業務も行っています。



皆伐再造林地の確認



間伐地の確認



林業労働に関する安全指導



林道の開設

農業振興室では、新たに農業を始める方、作業の効率化や経営改善を図ろうとする農業経営体、農業用機械の共同利用に取り組む集落組織など、様々な形態の農業の担い手に対して、町役場とともに機械・施設整備の支援を行っています。

また、農地を活用し続けていくための仕組みづくりや、イノシシなどによる鳥獣被害を減らす対策といった地域全体での取組についても支援を行っています。

日野農業改良普及所では、作物（水稻、そば等）、野菜・花、畜産、果樹などの専門スタッフである普及員8名が、現場に出かけ農家のみなさんや生産組織に接しながら、生産技術や経営の発展を支援しています。さらに、県組織はもちろん、町、農協等の関係機関との連携を密にし、スマート農業などの新技術の導入、地域農業の振興（産地づくり）、農業後継者や多様な担い手の育成確保、農村地域の活性化を進めています。



牛舎での飼養管理の改善指導



水稻の育苗指導



日南トマトの栽培指導

日野振興局 農林業振興課 電話：0859-72-2017 FAX：0859-72-2125

地域振興課

日野振興センター1階にある日野振興局地域振興課では、県税や情報公開などの窓口対応、観光振興や集落支援による中山間地振興、自然環境保全など、地域や住民のみなさんに関わる様々な仕事をしています。



管理担当は、日野郡における県の窓口として、情報公開や広聴のほか、車検に必要な自動車税の納税証明書交付や農業等で使用する軽油引取税の免税など県税の手続きをすることができます。

中山間地域連携担当では、「日野振興センターだより」やホームページでの情報発信のほか、官民の連携による地域活性化に取り組んでいます。

そのひとつとして、県と3町が連携し、急激な人口減少対策や災害に強い地域づくり、ふるさと教育の推進など、地域課題の解決や事務の効率化に取り組む「鳥取県日野郡連携会議」の運営を行っています。

また、金持神社やたたら製鉄といった地域資源を活かした観光振興、日野川の源流や流域を守るための啓発イベントや環境教育、鳥獣保護により豊かな自然環境を次世代に引き継ぐ取組について、関係のみなさんと一体となって進めています。

そのほかにも、移住定住促進や関係人口拡大、集落や地域づくり活動の支援、自然公園法の許認可など多種多様な業務を行っています。



日野郡の魅力を再発見する
モニターツアー（寄木細工体験）



日野川源流を訪ね、豊かな自然や
歴史に触れるイベントを開催



希少な動植物の保護も行っています。
（アサギマダラ）

日野振興局 地域振興課 電話：0859-72-0321 FAX：0859-72-2072

みなさま、こんにちは。この四月に所長に就任した吉岡と申します。日野勤務は二年目で、日野郡の魅力の奥深さに心躍る毎日です。日野郡は、三町それぞれが豊かな自然環境や歴史・文化を有し、地域特性や強みを生かした町づくりが行われています。その思いを尊重しながら、深刻化する人口減少や若者の流出をくい止め、暮らしやすい地域となるよう尽力する所存です。ここ数年のコロナ禍は、ライフスタイルを見つめ直すきっかけとなり、活発な情報発信がもたらす人のつながりが、新たな関係人口を生み出しています。子育て環境の充実や自分らしさの探求の結果、選ばれた地域となるよう、日野郡に住む人、働く人、訪れる人を大切に、地域あるいは町や関係団体みなさまと協力して諸課題に取り組みまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



日野振興センター 所長 吉岡 佐知子
新任所長 あいさつ

今秋
開催!

第3回 日本伐木 チャンピオンシップ in 鳥取

この大会は、安全・正確な伐木技術の習得と林業の担い手育成を目指すと同時に、競技形式でのスポーツ感あふれる高度な技術を見てもらうことにより、新たな林業の魅力発信、新規参入者の確保、社会的な認知度の向上を目的としています。

全国大会として「日本伐木チャンピオンシップ」が平成26年に青森県で始まり、1年おきに同県で開催されています。平成30年に開催された第3回日本伐木チャンピオンシップでは鳥取県選手2名が決勝進出を果たし、種目別部門(丸太合せ輪切り競技)で見事優勝を飾りました。

この快挙をきっかけに、県内でも大会開催の機運が高まり、令和2年に初めて鳥取大会が開催され、全国から多くの選手が参集し、技術競演や交流が行われました。以降は青森県と重複しないよう、1年ずつ交互に開催されています。

【開催日】令和5年10月28日(土)、29日(日)

【会場】西伯郡大山町赤松 大山榎原駐車場

出場の申し込みは大会事務局へ
☎0857-28-0123

【主催】第3回日本伐木チャンピオンシップin鳥取実行委員会
((公財)鳥取県林業担い手育成財団、鳥取県森林組合連合会、西部地区森林組合、
林業・木材製造業労働災害防止協会鳥取県支部、鳥取県、西部地区市町村)

【クラス分け】○プロフェッショナルクラス / 5種目:40名
○ビギナークラス / 2種目(①伐倒競技、②丸太合せ輪切り競技):20名
○アカデミー・ジュニアクラス / 2種目(ビギナーと同じ):10校20名の団体戦

観覧無料!

5つの種目

神業の
オンパレード

①伐倒競技 目標を定め、高さ12mの丸太を3分以内に伐り倒す!



狙いを定めて...

②丸太合せ輪切り競技

傾いた丸太を垂直に上下から切り出す



切口はピッタリ!

③接地丸太輪切り競技

地面に設置している丸太を地面に触れないように垂直に切り出す



ここで止める!

⑤ソーチェン着脱競技

ソーチェンを外し、パーの上下を入れ替え、別のソーチェンを取付ける



④枝払い競技

丸太に差し込まれた30本の枝を切り払う



会場内では、林業就業相談ブースの設置や林業の魅力の普及宣伝(林業関係製品の販売、苗木の無料配布、高性能林業機械の展示、デモンストレーション、子供むけ体験コーナー)、地域のPR(鳥取県知事によるオープニングセレモニー、地元の特産物を使った飲食ブース、開催地域企業の出店ブース)も予定されています。

問日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2007 FAX:0859-72-2125

日野県土整備局のお仕事

【県土整備局のミッション】

日野県土整備局では、住民のみなさんの安全安心な暮らしを守るため、防災対策やインフラ(地域の基盤)整備をはじめとする多くの土木工事を行っています。

防災対策では、浸水・土石流対策として河川改修工事、砂防えん堤工事を、インフラ整備では、広域ネットワークの整備や生活道路の交通安全対策を行って住民のみなさんの快適な暮らしを支えています。

その他にも、地震や台風による自然災害発生時には、河川の氾濫や道路の寸断箇所を早期に復旧する工事や冬季間における道路の除雪、防災意識を高めていただくために、地域の集会や学校を訪問して防災教育も行っています。



江府道路(久連トンネル)整備



ロータリー除雪車(鍵掛峠付近)



防災教育(日南小)

【担当課の仕事の紹介】

工事を施工するためには、住民のみなさんのご理解と多くの職員が協力・連携して計画的に仕事を進めていく必要があります。

最初の計画や設計は、計画調査室が担当します。工事の目的や必要性を詳細に検討し、設計を行います。必要な土地の取得、家屋の移転は用地課が担当します。用地測量を行い、土地所有者の方にご理解やご協力をいただきながら、用地取得を行います。

実際に施工できるようになると、建設総務課で入札、契約を行い、請負業者を決定します。施工は、内容に応じて、道路整備課、河川砂防課、維持管理課の各課が担当し、工事の監督を行い、請負業者の方と協議をしながら、業務を進めていきます。

工事完了後は、工事が設計どおりに施工されているか、厳密な検査を行い、引き渡しを受け、完成となります。工事完成後も計画的に点検やパトロールを行います。異常が見つかった場合には修繕工事を行うなど、住民のみなさんに永い期間、安全に利用していただけるように日々、維持管理を続けています。

【歩道設置工事(例)】



《工事前》



《完成後》

問日野県土整備局 電話:0859-72-2041 FAX:0859-72-1398

土砂災害から身を守る

雨の多くなる時期をむかえます。土砂災害から身を守るために、日頃から備えておきましょう。

① 土砂災害とは

大雨により、がけ崩れ、土石流、地すべりが発生して、人命が奪われたり、家や田畑が土砂で埋まる災害を土砂災害と呼んでいます。

② 異常気象と土砂災害

近年は地球温暖化の影響を受けて、大雨や短時間強雨による土砂災害が毎年のように全国で発生しています。日野郡でも、最近では平成25年、平成30年に、大きな土砂災害が発生しました。



平成25年7月豪雨(江府町久連)



平成30年台風24号(日南町矢戸)

③ 土砂災害への対策

土砂災害から人命や財産を守るために、砂防ダムなどの対策工事を進めています。しかし、土砂災害の可能性がある箇所がいたるところにあるため、それら全部に土砂災害を防ぐ施設を作るには、長い時間と膨大な予算を必要とします。

そのため、土砂災害の危険性が高まる前に、危険なところから避難することが重要です。

建設中の砂防えん堤



(日南町宮内)



(江府町洲河崎)

④ 土砂災害から身を守るために

①どこが危険なのか

町から配布されているハザードマップを確認して、日頃から身の回りの危険な場所を確かめて、避難について計画を立てておきましょう。

| | | |
|---|--|--|
| <p>日南町防災ハザードマップ [お問合せ] 日南町総務課 82-1111</p> | | |
| <p>日野町防災ハザードマップ [お問合せ] 日野町総務課 72-0331</p> | | |
| <p>江府町防災ハザードマップ [お問合せ] 江府町総務課 75-2211</p> | | |

ハザードマップ中の黄色で囲まれた区域を土砂災害警戒区域(イエロー区域)といいます。土砂災害が発生した場合、住民に危害が生じるおそれがあり、警戒避難体制を整備する必要があります。その内の赤色で囲まれた区域を土砂災害特別警戒区域(レッド区域)といいます。土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

②いつ危険なのか
雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意しましょう(NHK総合テレビで見られます)。
土砂災害警戒情報が発表されたら、気象や雨量の状況に注意し、早めに安全な場所に避難して下さい。

土砂災害危険度情報とは

市町村単位で発表される土砂災害警戒情報(※1)の内容を補足する情報として、地域の土砂災害発生危険度を着色により示したものです。

| 危険度情報の表示 | | |
|----------|-----------|-------------|
| 極めて危険 | 土砂災害発生の恐れ | 土砂災害警戒情報の目安 |
| 非常に危険 | 避難開始の目安 | |
| 危険 | 避難準備の目安 | 大雨警戒の目安 |
| 注意 | 今後の雨量に注意 | 大雨注意報の目安 |

土砂災害警戒情報(※1) 大雨による土砂災害発生の危険性が高まった時、鳥取県と鳥取地方気象台が共同発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、気象や雨量の状況に注意し、早めに避難して下さい。
危険度情報の高解像度化(※2) 危険度情報はこれまで5kmメッシュで提供していましたが、2019年8月8日より1kmメッシュで提供しています。

NHK総合テレビで土砂災害危険度を見る方法

1. NHK総合テレビにチャンネルを合わせ、リモコンの『d』ボタン(データ放送)を押します。
2. リモコンで『防災・生活情報』を選択します。
3. リモコンで『土砂災害危険度情報』を選択します。

NHK総合テレビ
↓
『d』ボタン
↓
『防災・生活情報』
↓
『土砂災害危険度情報』

お住まいの地域の土砂災害危険度情報を表示
(※テレビに登録された郵便番号をもとに選択されます。)

お住まいの地域以外の地域も選択可能

鳥取県全域の表示も可能

※実際の配置とは、異なる場合があります
パソコン スマートフォン・携帯電話でも確認できます。
[鳥取県土砂災害警戒情報システム]で検索

参考知識

土砂災害のまえぶれ

土砂災害では、発生する前にまえぶれがあるといわれています。もしそれらの現象に気がついたときは、できるだけ早く安全な場所に避難しましょう。

がけ崩れ

小石が転がり始めた
がけにひび割れが発生した

土石流

山鳴りが聞こえる
川が濁り、樹木(生の木)が流れる

広く自治会や小学校等の皆様に防災教育や出前説明会をおこなっています。お気軽にご相談ください。

問日野県土整備局 建設総務課計画調査室 電話:0859-72-2058 FAX:0859-72-1398

灘秀二郎さんは、令和5年3月から漬物製造会社出身の副代表、福島正剛さんとともにサルチャやキャベツの甘酢漬け、きゅうりの白みそ漬けなどの加工食品づくりをする「灘乃屋」を立ち上げました(サルチャとは、トマトからできたトルコ発祥の調味料です。パスタや煮込み料理の下味として使えるとのこと)。

オリジナルのおいしい加工食品を通して、日南町産食品全体のブランド化をめざす、それが灘乃屋のコンセプト! 長年、松江市のみそ製造会社で、営業から製造などすべての業務を経験した灘さんは、食品加工業で独立したら、妻の出身地である日南町のおいしい農産物を使いたいと、ずっと考えていたそうです。

また、灘乃屋では食品製造に強い気持ちを持つ「同志」だけでなく、営業や広報の担当、さらには「まだ何がしたいかわからない人」などを求めており、日南町で若者が働ける職場づくりもめざしています。

「未来ある日南町につながるように、6次産業の分野から日南町産のお米や野菜、加工食品の魅力発信に努めていきます。お互いを気にかけてあう『雰囲気の良い就職先』を作りたい…」上石見の山を背中に、お二人はおおらかな笑顔で将来の展望を語ってくださいました。

和食にも洋食にも合う灘乃屋の食品をぜひみなさんも召し上がってみませんか♪



▲看板商品揃い踏み!
(右端がサルチャ、左2つはキャベツの甘酢漬け)



▲左:灘さん 右:福島さん

問日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

日野郡初!

梨の担い手
づくりの挑戦

江府町では平成26年から梨の産地づくりの検討を始め、梨栽培の可能性を探るため、江尾に13aのモデル園を29年に設置しました。木を一列に植えて幹と幹を水平に曲げて接合させる「ジョイント仕立て(写真1)」という最新の方法で栽培するのは、本県で育成した高単価の品種「新甘泉」です。管理は奥大山農業公社が行い、約3トンの梨が収穫できるようになっています。

梨の栽培が確認できた一方で、担い手候補の地域おこし協力隊の福島優さんは、自立できるように現在、南部町の梨農家で実践研修中です(写真2)。就農地は江府町宮市地区で地元の合意を得て46aの梨園造成事業が進行中で、自立して経営できる品種構成や経営規模を検討し、令和9年以降には所得400万円をめざす日野郡初の梨農家誕生となります。

これらの取組が成功することで、さらなる産地拡大の夢がふくらみます。今後も関係機関で支援していきたいと考えています。



写真1 ジョイント仕立てのモデル園



写真2 モデル園で交配作業中の福島さん

問日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2027 FAX:0859-72-2090

表紙
写真

【タイトル】小さなトンボ王国 【撮影者】日野町 松本利秋

【撮影者コメント】 ツツジの名勝地と知られる日野町の滝山公園。この湿地には、世界最小のハッチョウトンボ(オス=成熟赤色・メス=茶色、一円玉ほどの大きさ)が生息する「小さなトンボ王国・ピオトープ」(生態観察園)があります(場所は、公園駐車場の上側)。この他にも色々なトンボが生息し、見ごろは6月~8月頃。観察時には以下の3つの注意事項を守ってください。

①木道を歩く ②トンボをつかまえない ③静かに観察する